

文學部の卒論を 横目でながめる

あとに残るは口頭試問だけ

文学部三年卒論文発表会... 横目でながめる

二百名を突破

学生課の就職決定簿が語る

就職決定簿の突破... 学生課の就職決定簿が語る

興安嶺の一部を 征服して引返す

ハイル着は廿五日頃

興安嶺の一部を 征服して引返す

漢書を御進講

羽田教授の光榮

漢書を御進講... 羽田教授の光榮

籠球惜敗

選手権大会で

籠球惜敗... 選手権大会で

呼吸器科 古屋調道

教育學の 特別講義

特別講義... 教育學の特別講義

愈々試験近づく

経済學部試験日割発表

愈々試験近づく... 経済學部試験日割発表

金曜講演

登山と競技

金曜講演... 登山と競技

古田大佐を聘し

海軍縮小問題に就て

古田大佐を聘し... 海軍縮小問題に就て

六高連勝

高校蹴球大会

六高連勝... 高校蹴球大会

管理課を新設

陳長は水上邦三氏

管理課を新設... 陳長は水上邦三氏

壁 試験期臨時開室

今年還暦の 六教授

六教授

今年還暦の 六教授

産経研究例會

今夜学友會

産経研究例會... 今夜学友會

法學部助教授

一新任

法學部助教授... 一新任

日本動物學會

京都支部例會

日本動物學會... 京都支部例會

教員補講

明十七日から

教員補講... 明十七日から

内職紹介

十二月の

大原社会問題研究所 雑誌

善アテナインキ

黎明社

第一銀行九太町支店

語スラフ 集募生講聴

現代支那と接觸の討論

一 接觸の意義
支那の現代史は、支那の歴史と異なり、支那の歴史は支那の内部から進歩したものであるが、支那の現代史は支那の外部から進歩したものである。

幣制改革とその政治的結果
田中忠夫
幣制改革は、支那の政治的・経済的状況を大きく変革した。その結果として、支那の政治体制も大きく変化した。

呼吸器病科 京都保健院
上野の山田
呼吸器病科の専門医として、京都保健院で勤務している山田氏の診察内容について紹介する。

大業官羊販店
大業官羊販店は、羊の飼育と販売を専門とする。その飼育方法や販売状況について詳しく紹介する。

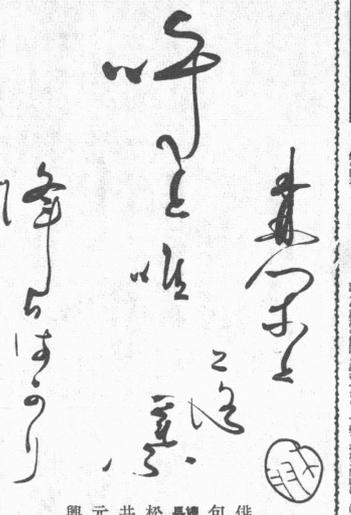
郷里からの通信
秘策をねつて
モダン寺小屋
郷里からの通信、秘策をねつて、モダン寺小屋の各記事の紹介と内容の要約。

里の正月
里の正月の風景や行事について紹介する。正月の里の雰囲気や人々の活動を描く。

新築貸間
新築貸間の案内。立地、設備、賃料などの詳細情報を提供する。

京大共済部
京大共済部の活動やサービスについて紹介する。学生や教職員のための共済制度の概要を説明する。

新刊紹介
最近出版された新刊書籍の紹介。著者、題名、内容などの情報を提供する。



井松長井元

松本肇教授の「ヴァグトリヤ 女王の大権行使」を讀む
池田 榮
松本肇教授の著作「ヴァグトリヤ 女王の大権行使」について、池田栄氏が感想を述べ、その文学的価値を評価する。

黒田正利氏「新譯「君主論」」
姉崎正臣
黒田正利氏が新訳した「君主論」について、姉崎正臣氏がその意義と内容について論じている。

小林秀雄の「私小説論」
野間 聖
小林秀雄の「私小説論」について、野間聖氏がその文学理論と創作実践について考察している。

休眼中に讀む 室生犀生の「復讐」
井上 眞
室生犀生の小説「復讐」について、井上眞氏が休眼中に読む際の感想や分析を述べている。

藝術を如何に鑑賞するか
鑑賞するか
藝術鑑賞の方法やポイントについて、読者にアドバイスを提供している。

農民文學の今後
大田 卯
農民文學の現状と今後の発展について、大田卯氏が意見を述べている。

繪畫の鑑賞
須田 國太郎
繪畫鑑賞の視点やポイントについて、須田國太郎氏が解説している。

藝術を如何に鑑賞するか (続)
鑑賞するか
藝術鑑賞に関する続編の記事。

農民文學の今後 (続)
大田 卯
農民文學の今後の発展について、大田卯氏が意見を述べている。

松本肇教授の「ヴァグトリヤ 女王の大権行使」を讀む (続)
池田 榮
松本肇教授の著作「ヴァグトリヤ 女王の大権行使」について、池田栄氏が感想を述べ、その文学的価値を評価する。

黒田正利氏「新譯「君主論」」 (続)
姉崎正臣
黒田正利氏が新訳した「君主論」について、姉崎正臣氏がその意義と内容について論じている。

小林秀雄の「私小説論」 (続)
野間 聖
小林秀雄の「私小説論」について、野間聖氏がその文学理論と創作実践について考察している。

休眼中に讀む 室生犀生の「復讐」 (続)
井上 眞
室生犀生の小説「復讐」について、井上眞氏が休眼中に読む際の感想や分析を述べている。

藝術を如何に鑑賞するか (続)
鑑賞するか
藝術鑑賞の方法やポイントについて、読者にアドバイスを提供している。

農民文學の今後 (続)
大田 卯
農民文學の今後の発展について、大田卯氏が意見を述べている。

繪畫の鑑賞 (続)
須田 國太郎
繪畫鑑賞の視点やポイントについて、須田國太郎氏が解説している。

藝術を如何に鑑賞するか (続)
鑑賞するか
藝術鑑賞に関する続編の記事。

Bottom section containing various advertisements for businesses like 'カメラ各種', '新築貸間', '京大共済部', '東山藥局', '小山歯科醫院', 'おでんとお食事', '堂々進', '中華北平御料理', '洋器音蓄本志久', '静學莊', '新築貸間', '京大共済部', '東山藥局', '小山歯科醫院', 'おでんとお食事', '堂々進', '中華北平御料理', '洋器音蓄本志久', '静學莊'.

謹賀新年

大阪府北區梅ヶ枝町一五七
森脇利三商店
 電話北區三二二〇番
 經銷：アステイト、印刷機、各種電機器具、各種電機器具、各種電機器具

本社 東京市芝罘三田四町二番地
日本電氣株式會社
 支社 大阪府東區北濱四丁目十六番地
 大連市大連通五十二番地
 出張所 奉天、臺北

電線・電纜
 日本電線株式會社
 本社 東京市芝罘三田四町二番地
 支社 大阪府東區北濱四丁目十六番地
 大連市大連通五十二番地
 出張所 奉天、臺北

池本重助商店
 大阪府東區常盤町二丁目
 電話東區二二三〇番
 支社 大阪府東區大津町一丁目
 電話東區一四八番
 支社 大阪府東區大津町一丁目
 電話東區一四八番

岸本器械店
 大阪府東區大津町一丁目
 電話東區一四八番

理化學器械
 醫學化學器械
 玻璃製品
 人絹用器
高尾製作所
 大阪府東區大津町一丁目
 電話東區一四八番

土木建築請負業
辰巳松五郎
 大阪府東區大津町一丁目
 電話東區一四八番

洛東アパートメント
 京都市北白河電停前
 電話上四五一四番

仕出辨當
武藏野
 左京區吉田電停前
 電話上五九四八番

新刊書籍
西川誠光堂
 左京區九本町電停前
 電話上二二二七番

京都帝國大學御用達
松田重二郎商店
 京都市中區丸太町北
 電話上二二二五番

京大御用達石炭商
米澤合名會社
 京都市中區三條東側
 電話上三三三三番

京都帝國大學御用達
種富合名會社
 種富製材工場
 京都市中區下町
 電話上七二二番

醫學博士 呼吸器科
山崎器械店
 京都市中區三條東側
 電話上三三三三番

理化學器械商
田村商店
 左京區吉田電停前
 電話上五九四八番

武田自轉車商會
ABC撞球場
 高野區上野五丁目上
 電話上三三三三番

藥種貿易商
株式 半井萬紹商店
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

昭和十一年正月
原理髮館
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

仕出辨當
長谷川食堂
 左京區吉田電停前
 電話上五九四八番

石本の洋服
長谷川洋服店
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

歐米漫遊と
洋脈の長屋
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

京都帝國大學御用達
種富合名會社
 種富製材工場
 京都市中區下町
 電話上七二二番

醫學博士 呼吸器科
山崎器械店
 京都市中區三條東側
 電話上三三三三番

時計 御用會 増田屋
増田屋
 三條區丸太町
 電話上三三三三番

武田自轉車商會
ABC撞球場
 高野區上野五丁目上
 電話上三三三三番

頌春
 羊羹は
 駿河屋
 京都驛前
 電話上二二二六番

養羊煉
 名実共に佳品
 京都驛前
 電話上二二二六番

醫學博士 內科
新田一衛
 下立賣通六宮東入
 電話西區〇五〇九二番

醫學博士 內科
井初郎
 聖徳院郵便局前
 電話上〇五八五五番

醫學博士 內科
大村節次郎
 左京區淨土寺馬場町一
 電話上〇五八九九番

醫學博士 皮膚科
田代勉三
 松上京區室町九太町角
 電話上〇五八五五番

醫學博士 耳鼻喉科
安野吉郎
 中京區高倉通三條北入
 電話本局六六一二番

醫學博士 呼吸器科
永清夫
 中立賣通堀川東一丁上
 電話西區〇一五九一番

醫學博士 皮膚科
田代勉三
 松上京區室町九太町角
 電話上〇五八五五番

醫學博士 耳鼻喉科
安野吉郎
 中京區高倉通三條北入
 電話本局六六一二番

醫學博士 呼吸器科
永清夫
 中立賣通堀川東一丁上
 電話西區〇一五九一番

文化元年創業
清水組
 本店 東京市京橋區寶町
 京都支店
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

武田自轉車商會
ABC撞球場
 高野區上野五丁目上
 電話上三三三三番

謹賀新年

營 一般衛生工事
 業 水道衛生設備設置
 科 換氣冷房脚前
 機 病院消毒装置
 器 汚水淨化装置

合資 大島居工業所
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

合資 柿坂製作所
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

合資 神野工業所
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

株式 城口研究所
 京都市中區丸太町南
 電話上二二二六番

聞新出日都京

朝夕刊共八頁
 購讀料
 金七拾錢